農業塾第4講　果樹栽培基礎（現地視察）

すももの現地にて、指導員より栽培のポイントの説明を行いました。
すももについては、棚栽培がほとんどですが、立木栽培でも作れるそうです。品種は大石早生が栽培しやすく初心者向きだそうです。しかし、１品種では交配をしないので、栽培する際は２品種を栽培する必要があります。

ももの現地にて、指導員より栽培のポイントの説明を行いました。
一般の方がももを栽培した時に実が落ちる事が多いそうです。原因は摘果不足。摘果をする際は、３回に分けて摘果を行い、手のひらの間隔に３個を残し、次に２個にする。最終摘果で手のひらに１個を残す間隔で行うと、失敗が少ないそうです。

ぶどうの現地にて、指導員より栽培のポイントの説明を行いました。
ぶどうの栽培には、つるを伸ばし実をならせる為、棚が必要になります。また、日照量が多く排水性がよい所がいいそうです。ぶどうを栽培するうえで、房作りが重要になります。６０個ほど果粒がなりますが３０個程度に房作りをします。

他にも．．．
梅やブルーベリーの講義を行いました。
梅については、受粉や摘果が不要で初心者にも取り組みやすい作物だそうです。
ブルーベリーについては、鉢植えで栽培を行えますので、畑が無い方でも簡単に栽培を行えるようです。